

ユニット3 ラーマーヤナの新しい表現:映画『オペラ・ジャワ』

1. 作品について

インドネシア映画『オペラ・ジャワ』(Opera Jawa、英語タイトルRequiem from Java)、ジャワ語、英語字幕付き、120分、インドネシア/オーストリア、2006年。

ウィーンNew Crowned Hope祭(2006年)委嘱作品。

63回ヴェネツィア国際映画祭(2006年)ホライゾン部門出品。

第7回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX 2006(2006年)特別招待作品。

第20回シンガポール映画祭(2007年)最優秀アジア映画賞受賞。

監督 ガリン・ヌグロホ(Garin Nugroho)

脚本 アラマントノ(Aramantono)、ガリン・ヌグロホ

音楽 ラハユ・スパンガハ(Rahayu Supanggah)

踊り レトノ・マルティ(Retno Maruti)、ミロト(Mirotto)、
エコ・スプリヤント(Eko Supriyanto)、ジェコ・シアンボ(Jecko Siampo)

美術 アグス・スワゲ(Agus Suwage)、ティタ・ルビ(Tita Ruby)

出演 アルティカ・サリ・デウィ(Artika Sari Devi)、レトノ・マルティ(Retno Maruti)、
エコ・スプリヤント(Eko Supriyanto)、スラムット・グンドノ(Slamet Gundono)



2. ガリン・ヌグロホ監督

1961年、インドネシアのジャワ島中部のジョクジャカルタ生まれ。インドネシア大学法学部卒業後、ジャカルタ芸術大学に入学し、映画学部で学ぶ。85年卒業後、短編、ドキュメンタリー、劇映画に活躍するインドネシアを代表する若手監督。代表作：『天使への手紙』(Surat untuk Bidadari, 1993)、『枕の上の葉』(Daun di atas Bantal, 1998)、『アンダー・ザ・ツリー』(Di Bawah Pohon, 2008) など。



3. 物語の発端

シティ(Siti, Artika Sari Devi)とスティオ(Setio, Retno Maruti)はかつて舞踊家としてラーマヤナのシンタとラマを演じていたが、今は小さな村で陶芸業を営む夫婦である。幸せな生活を送っていた二人だが、村に勢力をもつ強欲な肉屋ルディロ(Ludiro, Eko Supriyanto)はシティに横恋慕し、彼女を誘惑しようとする…

4. 物語を理解するためのポイント

1) インドネシア

人口2億4千万人。ジャワ人、スンダ人、マドゥラ人、バリ人、マレー人など490以上の民族からなる。それぞれ固有の言語をもつが、マレー語を基礎とするインドネシア語が公用語である。民族のなかで、ジャワ島の中・東部に住み、人口の40%を占めるジャワ人が政治的・文化的にも優位を占める。国民の86%はイスラーム教徒だが、かつてヒンドゥー教・仏教を信奉したジャワ人はラーマヤナ物語などヒンドゥー的な芸能を伝承している。ジャワ島中部を舞台にした本作品では、登場人物はジャワ語をしゃべるジャワ人である。

2) ラーマーヤナ (Rāmāyaṇa)

「ラーマ王子の事績」の意。ヴァールミーキ作とされるサンスクリット語全7編(2万4千詩節)が標準的なテキストとされるが、インド・東南アジアに無数のテキストが存在する。2世紀頃に現在の形が完成。ラーマをヴィシュヌ神の転生とする設定や第7巻は後期に付加されたと推測される。ヒンドゥー教の二大叙事詩のひとつ。

アヨーディヤーに都するダシャラタ王にラーマ(ジャワ語でラマ)、ラクシュマナほか4人の王子が生まれる。ラーマは、ジャナカ王の宮廷で開かれた婿選びの競技で優勝し、王女シーター(シンタ、敵から生まれた)と結婚し、二人はアヨーディヤーに帰国する。

ダシャラタ王はラーマに王位を譲ろうとするが、奸計にあつて、ラーマを14年間森に追放することを余儀なくされる。ラーマはシーター妃とラクシュマナとともに都を出て森に住む。

ランカー島の羅刹の王ラーヴァナ(ラワナ、10の頭を持つ)は美貌のシーターに横恋慕し、金色の小鹿を使ってラーマを誘き出し、その隙にシーターを誘拐してランカー島に連れ帰る。シーターは、彼女の心をつかもうとするラーヴァナの誘惑に抵抗し続ける。

失踪したシーターを探すラーマたちは森の中で猿の王スグリーヴァと盟友となる。スグリーヴァの家来の白猿ハヌマーン(ハヌマン)はランカー島に渡り、シーターにラーマの救援が近いことを知らせる。ハヌマーンは羅刹たちに捕まるが、ラーヴァナの宮廷を火の海にしてラーマのもとに帰還する。

ラーマたちは猿たちの力によって海に橋を架けてランカー島に攻め込む。激しい戦いの末、ラーマはラーヴァナを倒す。ラーマに貞操を疑われたシーターは火の中に身を投じるが、火神アグニが現れてシーターの潔白を証明する。一行はアヨーディヤーへ凱旋し、ラーマは王位につく。

(以下第7巻)国民の間にシーターの貞操を疑う声が生じ、ラーマはシーターを森に追放する。シーターはヴァールミーキ仙の庵に滞在し、クシヤとラヴァの双子を産む。ヴァールミーキ仙は二人に『ラーマーヤナ』を語って教える。それを聞いたラーマは二人が自分の子どもであることを認める。ラーマがシーターに身の潔白を証明するよう求めると、シーターは大地の女神を呼び出し、女神に抱かれて地中に消える。嘆き悲しむラーマは王位を息子たちに譲り、天界に昇ってヴィシュヌ神に戻る。

図:シータ、ラーマ、ラクスマナ、ハヌマーン、ラーヴァナ



3) インドネシア舞踊

作品の中で使われる舞踊はジャワの宮廷舞踊と、ジャワの宮廷舞踊や庶民の舞踊を元にアレンジした創作舞踊である。いずれもガムランと呼ばれる青銅打楽器を中心にした楽団によるジャワの伝統音楽を伴奏にしている。宮廷舞踊の中にはブドヨのような神聖舞踊と、ワヤン・クリ(人形影絵芝居)の影響を受けたワヤン・オラン劇を基礎にした物語を演じる舞踊がある。

4) インドネシア現代政治史

1945年	初代大統領スカルノがオランダから独立を宣言。
1959年	スカルノ大統領が「指導される民主主義」を唱え、大統領独裁政治になる。
1965年	9月30日事件発生。スハルトが反共クーデターをおこしてスカルノから権力を奪取。インドネシア共産党は非合法化され、赤狩りの結果多数の国民が投獄・虐殺される。第2代スハルト大統領による強権的な開発体制が始まる。
1998年	アジア金融危機の混乱のなか、スハルト大統領退陣。民主改革運動が始まる。
2004年	総選挙・大統領選挙の結果、民主党のユドヨノ大統領就任。

5. 参考文献

青山亨 1998 「インドネシアにおけるラーマ物語の受容と伝承」『ラーマーヤナの宇宙:伝承と民族造形』金子量重・坂田貞二・鈴木正崇・編. 春秋社.

青山亨 2008 「映画『オペラ・ジャワ』に見るラーマーヤナの変容」『総合文化研究』13: 37-60.
原文はブログで公開 http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/2014/11/116_6.html

trigon-film http://www.trigon-film.org/en/movies/Opera_Jawa

Internet Movie Database <http://www.imdb.com/title/tt0844742/>

Wikipedia http://en.wikipedia.org/wiki/Opera_Jawa

DVD入手先 <http://firstrunfeatures.com/operajawadvd.html>

このワークシートは授業終了時に提出してください。

氏名 _____ 専攻語 _____ 学生番号 _____

初めに配付資料を読み、映画を見ながら下記の課題に答えてください。回答はこのワークシートに書き込んでください。

1. 映画上映の冒頭に「語り手」が現れる。彼は何を述べているか？その内容は、観客の作品理解にどのような影響をあたえるか？
2. シティとスティオの関係はどのように描かれているか？「スティオ」は「誠実」を意味する。このことは登場人物スティオのどのような特徴を示しているか？
3. シティはスティオとの結婚生活をどのように感じているか？そのことはどのような点からわかるか？また、その描き方にはどのような特徴があるか？(参考:シーターは大地の畑の畝から生まれたという伝承がある)
4. ルディオはどのような人物として描かれているか？母親との関係はどのような特徴があるか？
5. 作品の結末はラーマーヤナの結末とは異なっている。なぜこのような結末となったのだろうか？
6. 課題は以上です。この映画についてのあなたの感想・コメント・質問を自由に記述してください。